

ID

氏名

年齢

科名

病棟

BEP 療法

週毎 コース予定

疾患名 胚細胞腫瘍

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

		day1	day2	day3	day4	day5	...	day9	...	day16
ブレオ	30 mg/body		↓					↓		↓
エトポシド	100 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓				
シスプラチン	20 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓				

【注意】

*エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時100mgを輸液250mL以上で溶解し

(濃度0.4 mg/mL以下の濃度になるように)、30分以上かけて点滴静注する

またDEHPフリー点滴セット(フィルターなし)を使用する

*1日の尿量が2000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。

*シスプラチンは遮光のこと

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg)1Capを内服

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 100 mL
点滴静注30分
- ③ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL 点滴静注120分
- ④ シスプラチン + 生食 500 mL 点滴静注120分
- ⑤ オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 2

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 100 mL
点滴静注30分
- ③ ブレオ + 生食50mL 点滴静注5分(600mL/時間)
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL 点滴静注120分
- ⑤ シスプラチン + 生食 500 mL 点滴静注120分

Day 2-4 オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 2-5 アプレピタントカプセル(80 mg) 1 Cap 1 × 朝

Day 3-5

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3 mg + デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 100 mL
点滴静注30分
- ③ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL 点滴静注120分
- ④ シスプラチン + 生食 500 mL 点滴静注120分

Day 9,16

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3 mg + デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 100 mL
点滴静注30分
- ③ ブレオ + 生食50mL 点滴静注5分(600mL/時間)

BEP療法

	コース						
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16
月日	/	/	/	/	/	/	/
ブレオ 開始時間		↓				↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
確認							

	コース						
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16
月日	/	/	/	/	/	/	/
ブレオ 開始時間		↓				↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
確認							

	コース						
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16
月日	/	/	/	/	/	/	/
ブレオ 開始時間		↓				↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
確認							

	コース						
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16
月日	/	/	/	/	/	/	/
ブレオ 開始時間		↓				↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
確認							